

令和3年度 府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成</p> <p>2 伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐ人材の育成</p> <p>3 豊かで幸せな人生を送ることができるよう主体的に学び続ける人材の育成</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>1 きめ細かな指導により、3年生の就職希望者は早期に100%内定した。進学希望者には徹底した進路検討会を重ね、良好な入試結果に繋がった。また、長期休業中の校内学習会、進学講習を充実させ、学習習慣の確立に繋がった。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の影響により、京都フロンティア校の取組、文化歴史推進校の取組、オリンピックパラリンピック教育、地域開放型スポーツクラブジラソーレの取組、地域イベントへの出演、出前授業、小中学校への学習支援、福祉施設ボランティアなど、本校が取り組んでいる多くの活動に制限が付き、十分な効果が得られなかった。地域活貢献活動をおして生徒が人間的に大きく成長し、地域・保護者から高く評価されているものである。同じ状況下でも取り組める方法を模索したい。</p> <p>3 学校評価アンケートでは「本校に入学して良かった」と回答した生徒が84%、「本校に子どもを入学させて良かった」と回答した保護者が89%と本校の教育に高い満足度がある。また、92%の生徒が「進路相談や進路に関する説明など、丁寧に指導してくれる」と回答しており、多くの生徒が進路指導に対して信頼している様子がうかがえる。</p> <p>4 昨年度から配置された高校魅力化コーディネーターが2年目を迎え、昨年度以上に活用できた。広報活動や与謝野町との連携が深まった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>1 学力向上対策の強化と進路実績の向上</p> <p>2 探究活動をおした問題解決能力の伸長</p> <p>3 部活動加入率の増加と競技力向上</p> <p>4 高校生の意見を地域への発信</p> <p>5 広報のさらなる強化</p> <p>6 部活動や遠隔教育による授業等の学舎制の充実</p> <p>7 地域に根ざした魅力ある学校づくり</p>	<p>1 <b>学力向上</b> 一人一人にきめ細かな指導を展開し、基礎学力及び発展的な学力を身につけさせるとともに、探究的な学習をおして、主体的に学ぶ姿勢を育成する。</p> <p>2 <b>学校行事・部活動の充実</b> メリハリのある教育を展開し、平日の放課後を有効に活用させる。生徒会活動や部活動など自主活動の一層の充実を図る。</p> <p>3 <b>ボランティア・地域貢献</b> ボランティア活動を積極的に行うとともに、「出前授業」「きもの着付け教室」など小・中学校、地域社会、PTAと連携した取組を充実させ、地域社会に貢献し信頼される学校を目指す。</p> <p>4 <b>広報の充実・入学希望者の増加</b> 本校の取組をHP、ニュースレター、学校公開など、あらゆる機会を活用して発信し、入学希望者の増加につなげる。</p> <p>5 <b>魅力的な教育内容の実践</b> 宮津天橋高校学舎制における遠隔教育システムによる授業や部活動の効果的な運用とともに、入学した生徒が広い視野を持ちながら大きく成長でき、学校と地域社会がともに発展する魅力的な教育活動を行う。</p>

評価領域	項目(重点目標)	具体的方策	評価			成果と課題
組織・運営	学校の特色化	地域理解を深め地域貢献に繋がる取組を展開し、地域とともに成長する生徒を育てる。また、与謝野町の高校魅力化コーディネーターを活用しながら地域との連携を一層図り、地域から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で校内外の取組も大きな制約を受ける中で、実施可能な方法を検討し教育活動を進めてきた。</li> <li>・高校魅力化コーディネーターの活動により与謝野町との連携や地域人材の活用がさらに進み、総合的な探究の時間等の教育活動の充実を図ることができた。また、与謝野町高校魅力化ビジョン策定に本校教職員がワーキングチームとして参画することで、現状認識や今後の方向性について共有することができた。</li> <li>・学舎間連携については、合同部活動の円滑な実施に加え、修学旅行を初めて合同で実施した。次年度の学舎制完全移行に向けて一層緊密な連携を行う必要がある。また、加悦谷学舎の強みや魅力を地域や中学校に発信していきたい。</li> </ul>
		広報誌(ニューズレター)・公式ホームページ・学校説明会などを通じて本校の魅力を発信し、入学希望者を増加させる。	B			
	指導体制の強化	生徒や保護者との面談を充実させ、一人一人を大切に丁寧な指導体制を構築する。また、安心・安全な学校を維持するため、いじめ等の問題事象の早期発見、早期対応に努める。	B	B		
	学舎制を踏まえた学校体制の構築	学舎制をさらに充実・発展させるために全教職員の参画意識を醸成し魅力ある学舎制の構築を進める。また、両学舎合同の教育活動を発展させ地域からより信頼される学校を目指す。	B	B		
学習指導 ・ 進路指導	学力向上	家庭学習の習慣化と基礎・基本の定着を図るとともに、主体的に学ぶ姿勢を育み、学力の伸長を目指す。また、学校評価アンケートや授業アンケート等を分析し、授業改善を積極的に推進する。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートでは、学習指導・進路指導の項目がともに約90%の生徒が肯定的な評価をしている。</li> <li>・次年度からの生徒一人一台学習用端末の導入や新学習指導要領による観点別評価の実施に向けて教職員の研修を進めた。</li> <li>・早期からの就職ガイダンスや生徒個人ごとの進路検討会を学年部と進路指導部が連携して実施し、生徒の希望進路の実現に繋がった。特に4年制大学の合格率は大幅に向上した。</li> </ul>
		新学習指導要領を踏まえた観点別評価や指導と評価の一体化、一人一台端末導入に向けた研修を行い、教員の指導力向上を図る。	B			
	希望進路の実現	計画的な進路指導を進め、早期に希望進路を確定させる。生徒一人一人に対する進路検討会や個別面談、放課後の講習等を充実させ、丁寧な指導を実施する。	A	A		
生徒指導 ・ 部活動	規範意識の向上	遅刻の防止、制服の着こなし、頭髪や身だしなみをはじめマナーの重要性を理解させ、問題行動の未然防止に努める。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予鈴遅刻者は、前年度に比べ約45%減少するなど、落ち着いた環境が維持され、学校評価アンケートでも生徒が高く評価をしている。</li> <li>・部活動加入率は横ばいであったが、全国大会への出場は、陸上競技1名、ウエイトリフティング5名、書道2名であった。</li> </ul>
	自主活動の活性化	学校祭等の学校行事の充実を図る。また、部活動加入率の向上を図るとともに、上位大会に出場する選手を育成し、学校全体で応援するような温かい学校にする。	B	B		
健康安全 ・ 教育相談	感染症防止対策	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「学校の新しい生活様式」の定着を図り、実施可能な方法を工夫・検討し、安全な教育活動を展開する。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら実施可能な方法を検討し、授業や学校行事、部活動等の安全な実施に努めた。</li> <li>・外部関係機関との連携を進めることができた。特に特別支援会議を定例化し「個別の指導計画」を作成し、教職員間で共有を図りながら指導を進めることができた。</li> </ul>
	教育相談	スクールカウンセラーの有効活用や外部関係機関との連携を図りながら、支援を要する生徒に対し、きめ細かい手立てを行う。	B	B		

<p>学校関係者評価委員会による評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒・保護者による学校評価アンケートでは、肯定的な評価が多く、また、ここ数年の推移からも年々学校の状況が良くなっていることが感じられる。現在の取組を継続してしてもらいたい。</li> <li>・ 生徒の学校評価アンケートの「学習や進路、その他の悩みを相談する教職員がいる。」に対する評価が低いことが気にかかる。コロナ禍でストレスを感じている生徒も多いと思われるので丁寧な対応をお願いしたい。</li> <li>・ 生徒の学校評価アンケートの「総合的な探究の時間等の取組で地域を知ることにより地域への愛着度が向上した。」に対する評価が高まるような工夫をお願いしたい。</li> <li>・ 進路指導について、地元企業の開拓や進学を希望する生徒も含め地元企業の選択肢を広げるよう取り組んでほしい。</li> </ul>
------------------------	--

<p>次年度に向けた改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍においても実施可能な方法を検討し、生徒の集団の力や人間関係を学ぶ機会を保障していきたい。また、担任以外にも多様な教員が関わりを持つことで生徒が相談しやすい体制を再確認する。</li> <li>・ 高校魅力化コーディネーターを一層活用し、地域連携・地域探究を推進し、総合的な探究の時間等の探究活動の充実を図る。</li> <li>・ 地域の関係機関や地元企業と連携し、企業講話やKayadani仕事図鑑等のキャリア教育の充実を図る。</li> </ul>
----------------------	---